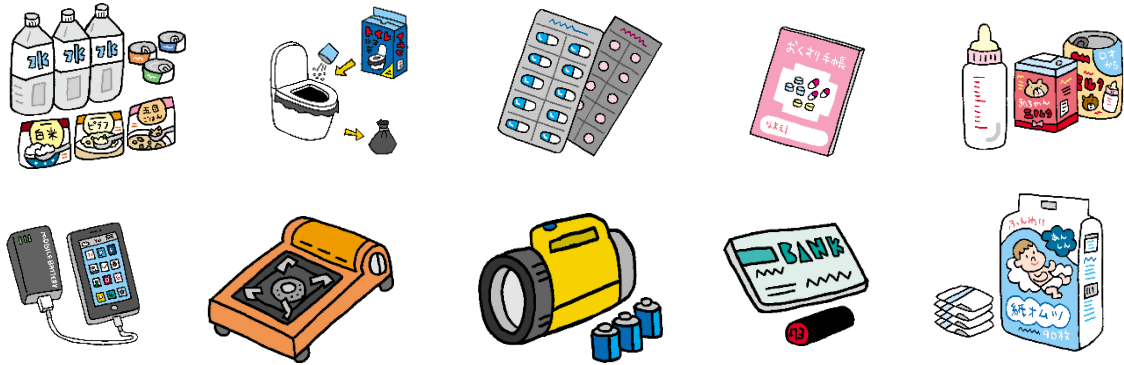


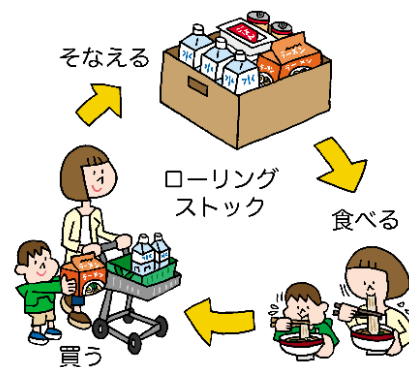
<家庭内備蓄>

- ライフラインの停止に備えて、7日分を目安に備蓄しましょう。
食料（アレルギー対応など）、水（1日約2L×人数分）
簡易トイレ、常備薬、お薬手帳（コピー）、乳児用ミルク
携帯バッテリーなど



- ※ライフラインとは
電気・ガス・水道・道路などの生活に必要な施設や機能

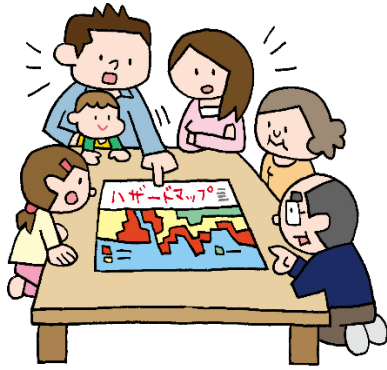
- 消費期限がある備蓄品は定期的に見直して入れ替えましょう。
食料などはローリングストックがおすすめです。



- ※ローリングストックとは
普段から少し多めに食料を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法
家族の人数×3日分を目安に備蓄しましょう。

<家族の会議>

- 家族の避難場所などをあらかじめ相談して決めておきましょう。
災害リスクと自宅状況によっては、在宅避難も有効です。



- 避難場所を決めたら実際に歩いて避難経路を確認しましょう。



- ペットを飼っている場合、一緒に避難することも必要です。



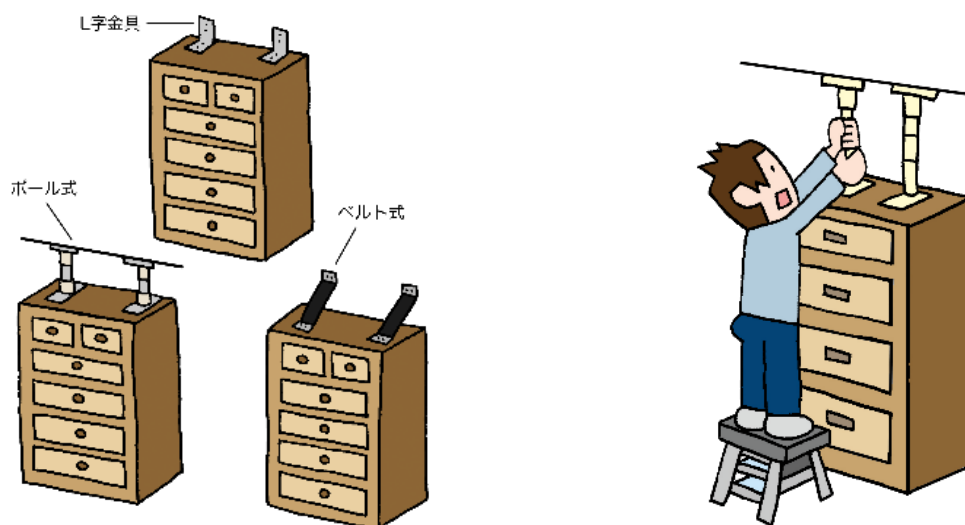
- 家族の安否確認方法を確認しておきましょう。
災害伝言ダイヤル（171）など
（毎月1日・15日、正月三が日、防災週間、防災ボランティア週間は無料体験が可能です。）



- ※災害伝言ダイヤル（171）とは
NTT が提供するサービスで、日本国内に大規模な災害が発生した場合に、電話を用いて音声による安否確認が行える伝言板の役割を果たすシステムです。

<家具転倒防止>

- 家具の転倒防止対策を行いましょう。
固定器具は説明書に従って、正しく設置しましょう。

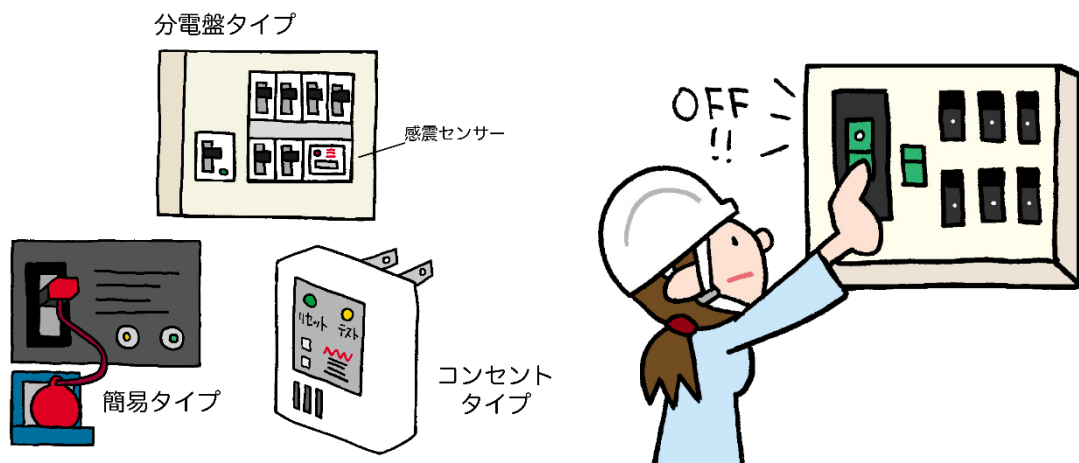


<電気火災防止>

○地震による電気火災を防止するために感震ブレーカーの設置を検討しましょう。

感震ブレーカー設置の有無に関わらず、自宅から避難する際にはブレーカーを切ることも大切です。

夜間に大規模地震が発生し感震ブレーカーが作動した場合、照明が確保できない可能性がありますので、照明器具を準備しましょう。



※電気火災とは

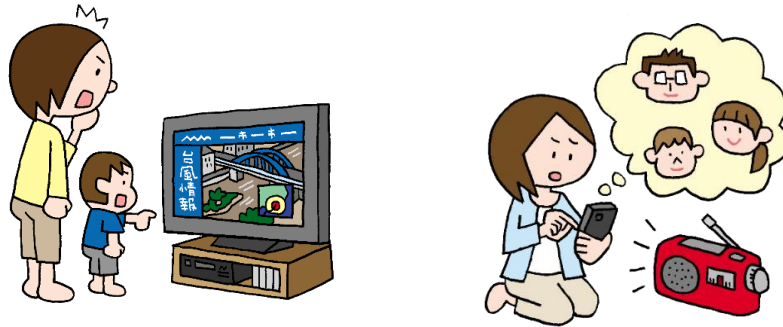
地震によって電気系統が損傷し火花が飛んで出火したり、電気ヒーターなどの熱を発する電気製品が倒れて出火する火災

※感震ブレーカーとは

一定以上の揺れを感知すると自動的に電気の供給を遮断し、地震による電気火災を防止する製品

<気象情報や避難情報の入手>

- 情報は待っていても届きません。情報の入手方法を確認しましょう。
防災行政無線 ※雨のときは聞こえないこともあります
(放送内容の確認電話：0180-995-690)
高山防災ラジオ、高山 CATV、市登録制メール (安全安心メール)
市公式 SNS (Twitter、Facebook、LINE)、市ホームページ



- 気象情報や避難情報の意味を理解して避難行動に結びましょう。
高山市出前講座などで学ぶことができます。
申込先：高山市危機管理課 (0577-35-3345)
高山消防署防災課 (0577-32-0119)

